

令和4年度第3回佐伯市食育推進会議 会議の抄録

1 開催日時

令和5年3月20日（月）14時00分から15時30分まで

2 開催場所

佐伯市中村南町1番1号
佐伯市役所 6階 第二委員会室

3 出席者等

出席委員15名、欠席委員7名（全委員数22名）

河野 辰也 委員長、染矢 弘子 副委員長

相川 良恵、浅利 歩美、久野 由香、坂本 晃彦、清家 フミヨ、戸高 竜介、
増野 莊平、柴田 真佑、大友 勝彦、酒井 智江、梶川 里沙、下田 めぐみ、
小谷 晃文

副市長 山崎 吉明

観光ブランド推進部 部長 古田 智

事務局

ブランド推進課 課長 戸高 真一、総括主幹 尾形 繁子、
副主幹 高次 秀爾、事務員 釘宮 沙也香

傍聴者 0人

~~~~~  
1 開会 開会あいさつ（部長）

2 議事の主な内容

第4次佐伯市食育推進計画について河野会長から山崎副市長へ答申

会長が議長となり議事進行

事務局から、令和4年度事業実績及び令和5年度事業予定について説明。

【委員から出された主な意見】

- ・オーガニック野菜を使用して食育事業を実施した。味も良いが、これまで作ってきた慣行農法の野菜も理解して欲しい。また、オーガニック野菜等はどこに行けば買える

かなどのアピールも必要では。

(農政課有機農業推進係：R5年度以降に、HP等に掲載しPRしていきたい。)

- ・市内の飲食店でもオーガニックを使っているところが少ない。使っている店の情報なども載せて欲しい。
  - ・市内の小中学校に魚食普及の出前授業に行っている。食育に繋がるので今後も機会があれば続けたい。
  - ・ワークショップ等で郷土料理を実施して欲しい。
- (事務局：郷土料理や親子参加できるものなど、幅広く展開したい。)
- ・オーガニック野菜の生産者を増やすのが大切。また、販売先の確保なども大切。
- (農政課有機農業推進係：有機農業に取り組む生産者を増やしていきたい。計画にも記載して取り組んでいく。市の独自認証制度もできたので、今後、市内の店でも販売していきたい。)
- ・学校給食へのオーガニック野菜等の使用を増やすのにも規格や価格、配送等様々な課題はあるが、少しずつ調整し、使用料が増えていく傾向にあるのではないかと。
  - ・映画「弁当の日」はまだ見ていない人に見てもらいたい。今後も上映会を実施してほしい。
  - ・さいきオーガニックマルシェの賑わいがもう少し欲しいが、続けて行くのが大切。
  - ・オーガニックフェスタの実施方法について、生産者や頑張っている人にスポットを当てるなど、ステージイベント等含め、より良い方法を考えて欲しい。
  - ・SNS等を使った広報は大切に効果的なので、今後も活用して欲しい。
  - ・引きこもりや不登校の子どもが農作業の手伝いをする事例があり、農福連携は良い。
  - ・海は繋がっているため、同じ国内の福島原発処理水の問題も気になっている。
  - ・東北被災地に行き、「森は海の恋人」について学んだ。今後、教育委員会が、小学校中学校でのオーガニックの授業を行う。珍しい取り組みだと思うが、期待している。
  - ・人の営みに大きな課題が山積し、直面しているが、SDGs・持続可能な・オーガニック等の考え方で、食育を含め取り組んでいきたい。

### 3 閉会